

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270500341
法人名	株式会社五所川原ケアセンター
事業所名	高齢者グループホーム憩いの家
所在地 (電話番号)	〒037-0016 青森県五所川原市一ツ谷554番地10 (電話) 0173-33-4301

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 2月 15日	評価確定日	平成 20年 3月 26日

【情報提供票より】(平成 19年 12月 21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 7月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	6,000~冬期12,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月 21日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 82.6 歳	最低	57 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中村内科医院、楠美泌尿器科、広田歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

五所川原市の複合ショッピングセンター近くにあり、保育所・小中学校・高等学校がある。また、病院や歯科医院等も近くにあり生活上必要な全てがそろっている地域であるにも関わらず静かさが保たれている。すぐ近くには小川が流れ散歩道が整備され、ホームの裏手には広い公園や東屋、家庭菜園が整備され恵まれた環境にある。ホームは1ユニットごとに仕切られ、雰囲気も違えば、理念も違う。それぞれの職員がユニットにあった理念を昨年、みんなで考えたものであった。職員一人一人が個々の利用者に合わせた対応を心がけ、利用者一人一人が安心して生活できるようなグループホームを目指している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価では、生活空間における湿度管理と部屋の明るさの確保が課題として指摘された。今回は、各居室のパネルヒーターの上部に水入れが設置され、随時残量を確認し湿度の維持が行われている。また日差しについても、カーテンの開閉幅や生地の色の変更により明るさが保たれている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、全職員で評価を実施し、更に管理者と代表とで精査し行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に一度の運営推進会議は、施設代表、管理者、保険者、利用者家族、利用者、地区代表が必ず出席され、活発な意見交換や業務に対する提案が出されている。提案事項や協議事項については、全職員で検討を重ね次の推進会議時に結果を出している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族との面談の機会を確保できるよう、顔を合わせる機会を作っている。また、苦情箱が設置され、苦情等の収集に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>施設開放による行事の案内と参加への働きかけや、積極的な外出による地域住民との顔合わせによる地域交流が図られている。保険者である市との交流も、キャラバンメイト等を通じて積極的に行われている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスへの移行に伴い、改めて運営理念の見直しを行いその人らしく生活することを支える柔軟な支援を全スタッフのもとで作りに上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に理念の理解が出来る取り組みを行っている。また、昨年、全職員で考えられたそれぞれの理念が、各ユニットの玄関に大きく掲示するなどして理解できるように工夫されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の祭り等への参加や利用者の社会性が保たれるように外出等を通じて地域住民と顔なじみとなるなど地域交流が図られている。地域との関係も事業所内の施設等を解放し積極的に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価での助言を元に改善に取り組んでいる。また、外部評価の意義を職員と共に考え、より良いものになろうと取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の伝達はもとより、今後の支援等を随時話しあっている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市職員の研修会や認知症サポーター講座の機会を通じ意見交換等を行い、サービス向上に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修で学んだ制度について、職員会議等を通じ全職員に周知すると共に、いつでも支援できるように努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に虐待防止に努めている。さらに、職場外の研修に積極的に参加し、それをもとに職場内研修で共通理解をはかっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退所を含めた事業所の対応可能なことについて説明をしている。また、契約後も解らないことがあれば面会時等にその都度説明している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時等にその都度口頭で報告すると共に、体調不良時や急用時には随時、電話連絡等を行い要望に沿う対応をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族と話をする時間を出来るだけ作るようにし、何でも話せる雰囲気作りに努めている。また、苦情箱を設置し、そこで寄せられた意見を反映させる取り組みをしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が離職する際、利用者へ不安を与えないように極力マイナスイメージになる言葉は使わないようにしている。また、利用者及び新しい職員がお互い少しでも知り合うことが出来るように最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時の研修は勿論、外部研修へも全職員が年1回は参加出来るようにしている。また、研修記録等は全職員が閲覧している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>全国、県、地区の協会に加盟すると共に、地区の事務局を努め積極的に研修を行っている。研修の機会を通じ、情報交換等を行いサービスの向上に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者及び家族が事前に見学し事業所の雰囲気等を見て頂いたりして、スムーズに利用できるように支援されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の「出来ること、出来ないこと」を把握し、お互いが協働しながら生活し、支え合っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望・意向の把握に努め、家族の協力を得ながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人及び家族の意向を含め、職員との意見交換を参考にしながら利用者一人一人の個別計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な期間での見直し、評価を行っている。また、利用者の状況や要望に合わせ随時見直しもを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者及び家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、利用者個々の要望に応えるように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の要望に沿ったかかりつけ医である。また、状況に応じて他の医療機関の受診が出来る。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び終末ケアに対してかかりつけ医と相談しながら家族とも検討を重ね安心して過ごせるように支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で気づいた事など、その都度話し合い、利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないような言葉かけについて再確認するように努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の生活スタイルにあわせ、その人に合った生活が送れるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の方に味付けをお願いすることや可能な限り準備等を行って頂くように支援がなされている。また、家族等からの食材提供時などはその食材が活かされるよう臨機応変に対応している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の希望と状況に応じて臨機応変に入浴を提供している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人一人の得意分野で、それぞれが持つ能力を發揮できるように生活の中で取り組んでいる。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者個々の希望、要望に合わせその都度対応がされている。また、日常的に事業所外に出る働きかけがされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日常的にミーティング等で身体拘束について再確認しながら業務に取り組んでいる。</p>		<p>口頭での取り組みだけでなく、身体拘束防止に向けた指針を文書により作成して欲しい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日常的に外出でき、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、消防署の協力を得ながら訓練を行っている。また、運営推進会議で協力を依頼している。</p>		<p>緊急時における対応方法をより具体的に把握し、手順書を作成して全職員に周知して欲しい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>摂取状況を毎日チェックし、全職員が把握できるようにしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し対応している。また、予防接種等を実施し感染予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>飾りやレイアウトが工夫され、利用者がくつろいで心地よく過ごせるように努めている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から使い慣れた家具等を持ち込むことが出来、本人が気持ちよく過ごすことが出来るよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。